

様式第6号（補助金交付要綱第14条関係）

事業実施報告書

●必要に応じて記載欄を拡大縮小してください。また、図面、イラスト、写真、見積書等活動内容の参考となるものがあれば添付してください（ただし、提出される書類は、A4判（両面使用可）に統一してください。）。

1 大学等名		〇〇法人〇〇大学
2 教育研究活動	区分	① 生活交通の維持・確保について
	テーマ	高齢者の移動手段確保について
3 連携した市町		□□町
4 連携した企業、団体等		〇〇株式会社、□□自治会、△△町内会
5 参加学生		<p>（学部学科学年ごとに人数を記載してください。）</p> <p>〇〇学部〇〇学科 4年 〇〇人 3年 〇〇人 2年 〇〇人 〇〇学部□□学科 2年 〇〇人</p>
6 活動の内容		<p>（実施期間、場所、取り組んだ内容等を具体的に記載してください。）</p> <p>①アンケート、聞き取り調査の実施 〇月〇日 アンケート(全世代対象)を実施。また、〇月〇日～〇日に〇〇〇地域センターにて高齢者を対象とした聞き取り調査を実施した。 ※感染症が拡大傾向にあったため、高齢者向けの聞き取り調査は少人数短時間で実施。できるだけ多くの声を聞くため、結果として訪問回数が増加となった。</p> <p>②現状についてのヒアリング 〇月〇日に□□町□□課、〇月×日に〇〇株式会社を訪問し、現状の利用実態や課題について話を伺った。</p> <p>③方策検討 〇月～〇月にかけて上記①②結果を整理分析し、有効施策の仮説を立案。〇月〇日、〇日、□月〇日に現地へ赴いて施策の有効性や改善点について検証し、フラッシュアップを行った。</p> <p>④〇月〇日、連携した団体や町等に向けた報告会をオンラインで開催した。</p>
7 活動効果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告会で、連携した産官学民各団体や地域住民に対して分析結果や施策案を示し、情報や課題意識の共有を図ることができた。会の中で〇〇や××という意見もいただき、今後の展開が期待できるものとなった。 ・ 今回初めて□□町を訪れた学生が多かったが、聞き取りで直接住民個人の声を聞く、自分自身が町内の移動手段を利用する、といった活動を通じ、「□□町でより良く暮らすためには」という課題を身近なこととして考えるようになった。

補助事業計画書（様式第2号）に記載の活動内容で実施できなかったもの等がある場合は、その経緯も記載してください。

補助事業計画書（様式第2号）に記載の活動目的や期待される成果に対する結果を記載してください。その際、研究活動が地域にどのように還元されたかという視点からまとめるようにしてください。